

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-49 小児医療助成事業				タイムスコード及び個別事業名			
		□支援部門				65	小児医療助成事業	
主管課	保険年金課		関連課	こども相談課		785	小児医療助成事業	
分野名	健康福祉							
目標 (目標値)	小児の保健の向上と福祉の増進							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	402,315千円	382,711千円					
	(国・県)	66,471千円	45,583千円				指標と評価	
	(負担金等)	15,337千円	4,641千円				指標	
	(一般財源)	320,507千円	332,487千円				評価	
	人員配置数	1.3人	1.3人				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	人件費	12,236千円	13,015千円				目標値	実績値
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	414,551千円	395,726千円	H21対象者:13,911人				
	市民1人当 りの経費	2,346円	2,242円	20年度				
	対象者1人 当りの経費	29,800円	33,610円	21年度				
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	横須賀市		
	所得制限無限界年齢	就学前	小6	3歳	就学前	0歳		
	通院対象年齢	小6	小6	就学前	小3	就学前		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 平成21年10月から助成対象年齢を小学6年生まで拡大を行ったため、電算処理システムの改修を 含めた、制度改正への準備が必要だった。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 一部負担金導入の制度改正への対応や今後の方向性について、県を含めて他市町村と意見交換 を行った。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) レセプト点検等による医療費の適正化						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①レセプト点検等の医療費の適正化、疾病予防施策、健康増進施策等の実施 ②神奈川県での医療費助成改正に伴い、一部負担金導入に関して湯河原町が導入し市町村対応に差 が生じている。現在、他市町村での導入の情報は無いが近隣市の状況を把握しながら、市としての 対応を検討してゆく。						
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
A	有	子育て支援策の中でも特に市民からの要望は高いため、財政状況等に配慮しながら、充実を図りたい。		A	有	子育て支援施策の充実という観点からも、事業の充実が必要と考える。財政状況を考慮し、助成年齢の範囲をどこまでとするかが、今後の課題である。		
課長名		保険年金課長 相澤 昭弘		部名・部長名		健康福祉部 石井 和子		